

ATIS 臨時総会・6月例会報告

JX ビルの講堂をお借りして開催しました。

(1) 臨時総会では、まず平成 27 年度幹事候補 12 名(継続 9 名、新規 3 名)が提案され承認されました。次に、パナソニックソリューションテクノロジー(株)の賛助会員入会が提案され承認されました。現時点で正会員 29 社、賛助会員 12 社、特別賛助会員 6 社の合計 47 社となりました。

(2) 例会では、代表幹事報告と感謝表彰式が行われ、引き続き、シンポジウムと分科会の年間活動報告が行われました。

1) シンポジウムは(株)アイ・ピー・イーが担当し、親会社である味の素グループの概要が紹介されました。池田菊苗氏による「うま味」成分であるグルタミン酸の発見によって事業がスタートし、現在、グローバル健康食品会社を目指した事業展開とその内容を紹介頂きました。4つの研究所を有し、企画管理部門と知的財産部門とが連携して研究開発部門を支援しています。(株)アイ・ピー・イーは知的財産部門の機能を分担しており、人材の重要性が紹介されました。



2) 次に、6つの分科会から1年間の活動報告および次年度活動計画が紹介(報告 15 分、質問 5 分)されました。分科会活動は例会活動とともにATIS活動の両輪とも言うべき活動であり、H26年度は調査分科会、知財分社経営分科会、コーポレートサポート分科会、特許情報研究分科会、新興国の知財調査分科会および若手による意見交換分科会が活動しました。

各分科会では、テーマに関心を持った各社の専門担当が参加をして、課題や悩みを共有し、意見交換を図り、解決策のヒントを探りだそうとするものであります。各分科会は年間10回程度開催されました。報告では、目的、活動方針、具体的な事例を交えて紹介を頂きました。分科会に参加しなかった会員の方々にも活動内容が伝わる興味深い活動であったことを紹介する発表内容でした。分科会が有効に機能し、参加した企業会員同士のつながりも深まりを感じさせるものでした。

恒例の懇親会では、異動の多い時期でもあり、ATISを去る会員、新たに参加する会員が多く、皆さんから挨拶を頂くとともに、これまでの活動を振り返るなど会話も大いに弾むものとなりました。

以上